

## 光徳沼

光徳沼は、切込湖と刈込湖に向かうハイキングコースの光徳温泉側の起点近くにある、日光国立公園の保護湿地です。面積が小さく（周囲約 300 メートル）、人里離れた場所にありますが、この沼は自然愛好家たちに人気のスポットです。年間を通じて湧き出る澄んだ水を水源とするこの沼は、真夏でも水温が 15 度を超えることはありません。そのため、この沼には、水温が 15 度より低い清流にしか生育しないバイカモ（学名：*Ranunculus nipponicus* var. *submersus*）という希少な水生植物が繁茂しており、小さく繊細な白い花で水面を覆っています。秋の光徳沼は、シラカバ（学名：*Betula platyphylla* var. *japonica*）やミズナラ（学名：*Quercus crispula* var. *crispula*）の紅葉に染められた周囲の山々を映し出すことで知られています。湿地帯の周縁には、節くれだった幹と振れた枝が特徴であるズミ（学名：*Malus toringo*）の木立が生い茂っています。

ハイカーやその他の訪問者にはこの隠れた名所を旅程に含めるよう勧めますが、その独特な環境かつ繊細な生態系を保護するよう注意を払う必要があります。